



特集

### 第10回 経営研究集会

山形から日本を変える

### 第3回 人を生かす経営全国交流会開催

時代認識を持ち、強みを発信し連携して同友会がめざす企業へ

### 2012年 幹部社員研修

課題解決の実行推進とは



## 第10回 経営研究集会

# 山形から日本を変える

11月9日、「第10回経営研究集会」がパレスグランデールで開催され、会員、ゲストなど150名が参加しました。来賓として山形市商工観光部武田部長、寒河江市商工振興課 宮川課長、山形商工会議所 富田専務理事、山形大学結城学長、山形銀行木村常務、きらやか銀行栗野頭取が参加されました。

今回の経営研究集会は“山形から日本を変える”のスローガンに、第1部記念講演、第2部の同じ会場で15グループによる大グループ討論の内容で行われました。大グループ討論は、「経営ビジョン」「社員共育」「地域づくり」の経営課題のテーマ別に2回行われました。



### 教育で大切なのは、面白さを伝えること

第1部の記念講演は、「山形から日本を変える」の演題で、慶應義塾大学先端生命科学研究所の所長富田勝氏が講演されました。

鶴岡市にある「慶應義塾大学先端生命科学研究所」は、2001年4月に開設され、映像を映しながら、研究所の10年間の歩みと世界でも注目されている「唾液でがん診断」「藻から燃料」「クモの糸の人工合成」などの研究内容を紹介。

人材育成の考え方として、高度経済成長期の知識偏重教育に苦言を呈し、「教育でもっと大切なのは教えることではなく面白さを伝えること」と強調。スポーツにたとえ、「研究」は「試合」であり、「基礎学力」は「基礎体力」だといいます。その実践例として、高校生を研究助手に雇い入れる斬新な教育プロジェクトがあります。

### めざすは「ノーベル賞級」博士

「鶴岡から世界的な科学者を育てたい。そのためには高校時代から最先端の研究に携わること。教科書の勉強ではなく若い時から実践で磨くことが大事」だと富田教授はその想いを語ります。まだ30代の研究生ですが、あと10年経てば、日本及び世界のバイオの中核にはいってくるといいます。

地元鶴岡で、世界に誇れる様々な最新技術が日々研究されていることや「鶴岡を学術文化都市にしたい。世界が振り向き研究所にしてくれ！」と山形県、鶴岡市からの熱い要請で、研究所が開設されたことを知りました。

### これからの時代、勝負をしなければ

日本の財政状態は、1990年以降右肩下がりにもかかわらず、高度経済成長期の気分のままお金を使っている。今の世代の生活を良くするために孫の世代のクレジットを使っている状況だと強調。自給自足ができない日本は「モノづくり」をお家芸としてきたが、人件費の安い中国、インドなどにはコスト競争では勝てない。同じ品質のものを作り売れたとしても利益がでない。では何を売るのか。高くても買ってくれるものすごくいい情報、サービス、技術でありそれが知的産業だといいます。

「これからの時代、勝負をしないと！」と富田教授。「日本は勝負する人を煙たがる。失敗をするとそら見ろという時代もあった。国も自治体も企業も個人も勝負をしないと自分

で勝負する志の高い人材の必要性を強調します。

日本の戦後を支えてきたのは、ソニー、松下、ホンダなどのベンチャー企業だった。今、日本に必要なのは、ゼロからスタートする気概のある人材を今の100倍に増やすことだといえます。

会社の中で、ゼロから新たな事業、ビジネスを立ち上げよう。それはほとんど失敗することをわかったうえで挑戦しようと私たち中小企業にエールがおくられました。

### 花よりも根を養う

自分たちのために、次世代に借金をしている現状をしっかり認識し、今、必要なことは、次世代に何ができるのかということをしっかり考え行動に移すことです。

最後に、富田所長は、庄内の今の花を綺麗にする以上に次のために根を養っていくという「花よりも根を養う」の言葉を紹介。

また、福沢諭吉の教育や考え方にふれ、「法律や総理大臣を変えても国民の気持ちが変わらないと変わらない。上から変

えることよりも、国民一人ひとりが自分の頭で考え、世の中をよく知り、それに対処する人材を増やさない限りこの国はよくなる。私は福沢諭吉の考えに賛同し、上から変えることよりも下から変えていきたい」と話されました。

今集会で、知的産業による地域振興のミッションを共有し、山形の可能性に確信と誇りを持ち、次世代のために、中小企業経営者自らが“根”を養う豊かな大地になりましょう。



## グループ討論研修で、学び方の基本を学ぶ



10/19、実行委員会主催による「グループ討論の基本を学ぶ研修」を開催。講師に、中同協の松井清充専務幹事を迎え、「学び方を深めるグループ討論とは」と題して講義。はじめに、日本は「人口」をはじめ「資源・顧客・お金・企業」が減少の時代で、日本のビジネスモデルが崩壊し、時代の

変化の対応が求められているとし、時代認識の重要性に触れました。私たちの取り巻く環境は「永久に厳しい」と松井専務。

「労使見解」が、企業がめざすべきものを明らかにしていること。企業づくりを学びあうのが例会で、人育てを学ぶ会が同友会の特長だと説明。グループ長の役割と参加者の経営課題の引き出し方、議論の深め方も説明し、実践に活かせる学びをつくる役割の多くをグループ長が担っていると強調しました。

例会と同じスタイルで、1グループによる模擬グループ討論も行い、参加者からは、「質問中の言葉に対する認識統一やキーマンの見つけ方、メンバーの方の仕事に合わせた質問など大変参考になった」「G討論＝社内会議でする事を再認識した。山形同友会として労使見解をもっと学ぶ必要がある」「G討論を理論で再認識出来ました」などの感想が寄せられました。

## 第3回 人を生かす経営全国交流会開催

# 時代認識を持ち、強みを発信し連携して 同友会がめざす企業へ

11月15～16日、「第3回人を生かす経営全国交流会」が、名古屋国際会議場に於いて開かれました。『希望創造の時代、人が輝く企業づくりを～経営者の覚悟と実践～』のメインテーマのもと、1300名が集い、山形からも2名が参加しました。

本交流会は、中同協の経営労働委員会・社員教育委員会・共同求人委員会の三委員会の合同企画で始まり、今回からは障害者問題委員会も加わって「中小企業における労使関係の見解」の実践を交流しました。

一日目は「同友会がめざす企業像と企業づくりの運動の変革へ～時代認識を明確にし強みで連携～」と題して、(株)宮崎本



店 宮崎由至社長が問題提起を行った後、12の分科会に分かれて、同友会運動と企業づくりを深め合いました。二日目は、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授 植田健男氏の「生きること 働くこと 学ぶこと ～教育とは何か～」と題した記念講演に学び合いました。

### 第3回人を生かす経営全国交流会に参加して

(株)菊池技建 代表取締役 菊池幸生

問題提起の中で(株)宮崎本店 宮崎由至社長は、「経営変革支援プログラムSTEP2」が売れないのは、仕組みがないから書くことが出来ない。経営戦略と戦術を明確にしていない。それはできるための仕組みがないことで、だから書けない、動かない。戦略はサッカーでは監督。戦術はサッカー選手。社長が戦術をしていることは監督がボール蹴っている状況と指摘。

また、社員から辞められてからの採用は、つぎはぎ人事で戦略がない。新卒採用は戦略であることが強く印象に残りました。

知り合いになった大分の同業の社長も「プレイングマネージャーからの脱皮は社員が仕事を取れるようになってから新卒フォローに徹した」と言っていて、いろいろ意見交換できる仲間ができたなと実感しました。

二日目の記念講演では、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授 植田健男氏が、「生きること 働くこと 学ぶこと～教

育とは何か～」をテーマに講演しました。

生きること、本当の人生の目的は何か？働くとはどういう意味か？を見失っている。と指摘し、馬の世話をするため獣医になりたいのに、成績が優秀だから医者の方が良いという進路指導で、なんとなく医者になる。しかし、生きる喜びや働きがいにつながらない。教師は生きることの理解を教えなければならぬ。

死ぬほど勉強してきたことが生きることにつながらない。学ぶことから生きること、そして働くことへ繋がらない。本来したいことができず無駄な時間を過ごしている子ども達がいる。大学をゴールにしているから授業中も学生は無表情、生身の声を聴いてもブラウン管の先の映像を見ているような感じである。それから学びへとは繋がらない。優秀な学校へ行くことが目的になっていることに問題がある。学校の先生も親も「優秀な学校へ行くことがお前のため」としか言えない。学校の経営指針がないからそういう内容になり、本当の子どもの人生の目的をサポートしていないと現状の問題点を説明。

地域と学校の連携があるところに学生と二週間勉強に行くことにした。学生の目的は低予算の北海道旅行という感覚で参加したが、目的はどうあれ、その場所で気づきを得られた。本当の子供の生きる目的が生まれた時、目の色が輝き、生きがい生まれた。

「働くこと」で、「学ぶこと」と「生きること」を結び付ける。そういう仕組みを私達は企業として取り組まなければならないと実感した。



2012年幹部社員研修はテーマを「稼ぐ幹部社員になる為の実践編」とし、講師に(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山亨氏をお迎えし、2回(9/5,10/17)行いました。

参加人数は過去最高の33社80名となり、各企業の社員教育の取組み、関心の高まり、同友会の研修への期待を感じました。



### 正確な現状把握と明確な目標設定

第1講では「稼ぐとはどういうことか」から始まり、「組織の中での幹部社員の役割」「売上のあげ方」「利益の出し方」などの講義をして頂きました。

グループ討論は「業績アップの為にあなたの部署・チームの課題(解決すべき問題点)と解決策は何ですか」という実務に即したテーマで行いました。

各グループ共に、日々の業務にある課題を抽出し、どのようにすれば解決できるのかを真剣に討論し、第2講までの実行計画を練りました。第2講まで、必ず実行推進することを約束して1講が終わりました。

約1ヵ月後の第2講は、「稼ぐ幹部社員になる為の実践編」を基本に「どのようにすれば課題解決の実行推進が出来るのか」「〇〇して〇〇出来るようになる」「正確な現状把握と明確な目標設定」「部下育成」「問題解決力」「問題と問題点の違い」「成果を生むマネジメント」などの講義をして頂きました。

課題解決の実行推進にスポットを当てた講義は具体的でわかりやすく、受講者はこの1ヵ月の実践してきた事もあり第1講に増してうなずき、メモの場面が多いと感じました。

グループ討論では「課題解決実行推進の検証(報告)と改善策」をテーマに行いました。受講者はこの一ヶ月間、課題解決の実行を確実にできており、各グループでは実施報告、成果、反省点、今後の改善策などを積極的に討議しました。

### 成功の4つのステップ

研修後の参加レポートでは、

- ・幹部には①社長を補佐する②部下を育成する③業績を上げるという役割があることを学んだ。実践していきたい。
- ・成功の4ステップ「①気付き②決める③行動する④続ける」を考え、業務につなげていきたい。
- ・数字にこだわる。現状、目標、期限を正確・明確に数値化していきたい。

などの意欲あふれるレポートが多く提出されました。

中には「部下との成長競争」は今後も実行していくという興味深いコメントもあり、成果ある研修だったと感じました。

### 社員教育の基本は仕事をとおして

グループ長を務めてくださった方々からは、第1講の討論が難しかったという声もありましたが、第2講では受講者のほとんどが課題解決実行推進をしてきて頂いた事もあり積極的な討論となったという報告がありました。

また、社外研修に参加させることは良いことだか、社員教育の基本は日々の業務を通じて社内で行うもの(OJT)であり、その基本があってこそ社外研修が活きてくる。それこそが経営者の責任ではないかという厳しい意見もあり、各企業のより一層の社員教育への取組みが重要であることを再認識しました。

参加された幹部社員の皆様は、忙しい日々の業務を早々に終えての参加だったとお察しします。また、経営者の方々には社員教育への取組みに敬服いたします。そしてグループ長の方々に感謝申し上げます。皆様ありがとうございました。

(社員共育委員長 阿部和人)



# 2013年 新春交流会

## 見えてきた!明日の地域づくり、会社づくり

～今だからこそ、私たちの声を行政に届け、施策に反映させよう～

同友会は、2003年から「中小企業憲章」と「中小企業振興基本条例」制定に取り組み、2010年6月には、「中小企業憲章」が閣議決定され、条例は、現在17都道府県79市区町で制定されています。

山形同友会は、中小企業の活力が地域を支える柱と考え5年前から活動を続け、2012年12月には、山形県の条例制定が予定されています。

新春交流会では、(株)菊池技建 菊池幸生社長、Hair With Water 赤塚治美ディレクター、(有)大山ボデー 佐藤知志専務、条例策定委員長の鈴木県会議員による対談を行います。

「条例」って何なのか、「条例」があることで地域が、自社がどう良くなっていくのかを明確にし、持続可能な地域づくりのために、自社の経営基盤である「地域」と自社を見つめ直す機会とします。

日時

**2013年1月23日(水)** 受付/午後3時 開会/午後3時30分

**第1部 新春対談 15:30 ~ 17:15**

**グループ討論 17:20 ~ 18:50**

**第2部 懇親会 19:05 ~ 20:40**

会場

**ホテルメトロポリタン山形**

山形市香澄町1-1-1 TEL 023-628-1111

参加費

**第1部 無料、第2部 懇親会費 5,500円**

**ゴーゴー  
プライス!**

会員企業の商品  
(卵、お肉、お酒etc)  
を提供します。

### 2013年新春交流会 実行委員長 菊池 幸生



今度新春交流会の実行委員長をさせていただきます菊池技建の菊池幸生です。宜しくお願い致します。

正直、呼びかけとか好きではなく、政策委員会からテーマの提案があり、私にとってむずかしいと思ったのですが、やるからには意味のある交流会にすべく、いろいろと考えました。

議論していくうちに興味の湧く分かりやすい内容にしよう今回対談形式で小学生でも理解できる内容にしていきます。条例とは何なのか?私の会社にとってメリットあるの?そんな疑問をぶつけていきます。

最終的には、参加された方の意見が反映され、私達に必要な政策にしていくことが目的ですが、それにはグループ討論で意見を出し合い、議会でも納得いく内容が必要です。

ぜひ、一人でも多くの方にご参加願ひ、私達の手で必要な条例に実現していきましょう。

皆さまのご参加お待ちしております。宜しくお願いいたします。

# 12月支部例会案内

置賜支部

## 望年会

- 日時:12月5日(水)18:30~
- 場所:家庭料理居酒屋よねざわ村  
(米沢市中央1-14-8 TEL0238-22-3963)
- 参加費:3,500円

2012年のカレンダーも残すところ少なくなりました。置賜支部12月例会は恒例の望年会です。皆さまにとっては、どんな一年だったでしょうか。

美味しい料理とお酒をおともに、ざっくばらんに語り合う会です。会社のこと、地域のこと、新しい年にかかる思いを語り、交流を深めましょう。

どなたでも参加できます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

山形支部

## ボウリング&忘年会

- 日時:12月7日(金)16:45~(プレー開始17:00)  
ボウリング16:45~18:00  
忘年会:18:30~20:30
- ボウリング会場:ヤマコーボール  
(山形市香澄町3-2-1山交ビル5階  
TEL023-631-2511)
- 忘年会会場:街食舎「笑む」  
(山形市本町2-1-20桂ビル TEL023-633-6377)
- 会費:ボウリング 1,000円  
忘年会 4,000円

2012年締めくくりの例会は、ボウリングと忘年会。まずは、ボウリングで体を動かし、運動不足を解消!その後、街食舎「笑む」さんへ会場を移して忘年会となります。一年を振り返り、新たな年に臨む抱負を語り合い、交流を深めましょう。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

### 景品提供のお願い

参加される方は、自慢の商品・眠っている贈答品など一品の提供をお願い致します。当日、ご持参の上、ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

庄内支部

## 忘年会

- 日時:12月10日(月)18:30~
- 場所:愉海亭みやじま  
(鶴岡市湯野浜1-6-4 TEL0235-75-2311)
- 会費:11,000円(1泊2食付き)  
6,000円(宿泊なし)

12月の庄内支部例会は、忘年会です。今年はどうな年だったでしょうか?

会社のこと、同友会のこと、地域のことを語り合いましょう。変化の激しい時代を生き抜くには、経営者同士の意見交換や情報交換が不可欠です。経営者の熱き思いをじっくりと仲間と語り合い、交流を深めましょう。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

さくらんぼ支部

## 望年会

- 日時:12月11日(火)18:30~
- 場所:カフェレストラン隠れ家262  
(天童市大字老野森262 TEL-654-4807)
- 会費:5,000円

2012年は、どんな年でしたか?12月のさくらんぼ支部例会は、毎年恒例の“望年会”です。

新年のみなさんの夢、会社の夢など、経営者の熱き思いを仲間と語り合い、交流を深めましょう。

何気ない話の中に、経営のヒントが詰まっています。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

寒河江支部

## 忘年会

- 日時:12月19日(水)18:30~
- 場所:Food Bar び~しゃいん  
(寒河江市本町2-1-37 (0237-85-5354)
- 会費:3,500円

12月の寒河江支部例会は、毎年恒例の“忘年会”です。車座になって自社の経営課題や新年の夢、会社の夢など、経営者の熱き思いを仲間と語り合いましょう。

何気ない話の中に、経営のヒントが詰まっています。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

どちらの支部例会にも参加できます。詳細は、e.doyuまたはHPをご覧ください。

# 第8回理事会報告

■日時:2012年11月14日(水)18:30~20:30 ■会場:同友会事務局 ■議長:越前屋理事  
■出席:青柳、浅野、阿部(和)、越前屋、川合、齋藤、中村、松田、安藤、島貫、事務局:伊藤、矢作

議長を越前屋理事がつとめ、安藤代表理事の挨拶で始まりました。挨拶は下記のとおりです。

山形県は、2012年の社長の輩出率は3年連続のトップであり、100年以上の老舗企業率もトップだった。ここに辛抱強く耐える山形の県民性が現れている。

これから全国各地で中小企業憲章の条例化の動きがある。厳しい環境にはあるが我々同友会会員が自社を強くし、憲章を活かし地域を活性化していかねばならない。

## ■報告事項

### ◎中同協関連

1) 合同企業説明会in仙台(10/29)について、安藤代表理事が報告。東北6同友会が参加し、学生さんの参加は約300名。9名の学生と面接をし、採用に向けて準備をしている。

2) 中同協第2回幹事会(11/2)について、安藤代表理事が報告。東日本大震災復興本部(REES)の立ち上げ、景況調査DORから、北海道・東北では人件費節減が半減し人材確保の比重が高くなっている。景況感の悪化の中でも社員教育に力を入れている状況にあると報告。e.doyuに伴う個人情報保護マネジメントシステム(PMS)の運用の協力の依頼について報告。

また、鋤柄会長より、同友会運動と企業経営は不離一体(役員育成の課題)について問題提起があったことを報告。

### ◎各委員会報告

3) 経営指針委員会の中村理事より、委員会の新役員体制について報告があり、新委員長に菅原社長、副委員長に菊池社長、金田社長、赤塚ディレクターが就任することが紹介された。コース別セミナー(理念・財務・労使見解)の開催について報告。

4) 政策委員会の齋藤理事より、11/5締め切りの「山形県中小企業振興条例(案)」に対して、山形同友会として、パブリックコメントを提出し、追記として「審議会」設置をもとめたことを報告。

◎11月10日現在の会費未収状況について伊藤事務局長が報告。

■承認事項 4名入会、2名退会 11/14現在 408名

## ■討議事項

### 議題1:第10回経営研究会について

金田実行委員長より御礼の挨拶と①200名の目標に対して150名の参加だった。②分科会を行わず、経営課題別に大グループ討論を開催。③その成功に向けて、グループ討論研修を開催した。④講師の富田先生から同友会に対しての評価をうけたことが特徴として報告。

理事会で出された意見等を含め、11/22の実行委員会でもまとめ、全

体総括・収支報告は、12月理事会に提案することを確認。

## 議題2:2013年新春交流会の件

齋藤理事より、開催要項(日時、テーマ)、対談者(菊池氏、赤塚氏、佐藤氏、鈴木議員)、コーディネータ(齋藤氏)の役割分担等について提案があり、承認されました。対談内容は、実行委員会で作成することが決定。参加費は5500円、参加目標は160名に決定。グループ長は政策委員会、理事の方をお願いし、グループ長の事前学習会を開催する。

## 議題3:2013年度代表理事選出の件

松田代表理事より、代表理事人事の基本的な考え方と、2013年度から選出の具体的な提案がありました。常任理事会で再検討することになりました。

## 議題4:2012年度の下半年の活動について

川合代表理事より、2012年度の重点課題の到達状況と課題の提案があり、時間の関係で全体討論はできませんでした。

## 議題5:第29回定時総会にむけて

実行委員長の浅野理事より、実行委員の人選がスタートし、12月中に実行委員会を開催し、実行委員会体制を確立すると報告。記念講演の講師に2名の他同友会の会員を候補にあげ、4月の開催日程等も含めて準備すすめています。

## ■その他

1) 中同協より提案があった、「金融円滑化法終了に関する影響調査」の実施、金融機関との懇談会について、齋藤理事より提案があり、政策委員会で、検討することになりました。

2) 12/4 事業承継セミナー(きらやか銀行さん主催)の参加動員。

3) 新e.doyuが3月中に再リリースする件

4) 次回理事会日程

●日時:12月12日(水)午後6時30分 ~午後8時30分

●会場:同友会事務局

●議題:①第10回経営研究会のまとめ

②2013年新春交流会

③第29回定時総会関連

④組織課題進捗状況 ほか

## ■閉会挨拶(川合代表理事)

組織は活性化が必要です。同友会運動は企業経営と不離一体です。鋤柄会長の問題提起にもあるように、企業でいえば社員の力であり、同友会でいえば会員の力が必要です。そのために増強が大事であり、役員として深く関わっていきましょう。

## 新会員紹介

### ◎梅津 節子氏

梅津行政書士事務所 代表  
業種 行政書士業務  
山形支部

### ◎井上 勝寛氏

OUTSTANDING 代表  
業種 観光ガイド業  
置賜支部

### ◎鈴木 翔氏

(有)出羽サッシ鋼建 店長  
業種 カギ開錠、紛失カギ制作、  
防犯設備施工  
山形支部

### ◎七五三 真理子氏

ジブラルタ生命保険(株) 営業課長、  
シニア・ライフプラン・コンサルタント  
業種 生命保険業  
山形支部

## 役職変更

●(有)菊地運送 専務取締役 菊地政智氏(寒河江支部)  
→代表取締役へ変更

同友やまがた12月号 (2012年12月1日発行/通巻237号)

From Editor

★今年はオリンピックイヤーで、ノーベル賞受賞のニュースもあり、「偉い」「すごい」の言葉をよく使ったように感じる。自分には縁遠いが、どうも1位とかメダルを取ったとか、〇〇賞受賞に反応してしまう。★第10回経営研究会の記念講演でご講演いただいた富田教授のお話は、今の日本の現状をえぐりだし、大変興味深かった。研究所の存在は知っているも、サイエンス、バイオの世界は遠く、中身を詳しく知っている人は本当に少なかった。5月の庄内支部総会で、人材育成、教育の考え方、地域づくり、信念を知ることとなり、同友会のみならず心動かした。富田教授の言葉を借

りればエキサイトした。★戦後、右肩上がりの経済成長を体験した私たちに、会社に喰わせてもらおうという体質があるという。いい学校に入り、いい企業に入れば安定が約束された時代もあり、大企業神話のルールを持たされ、学校でも点数に固執し結果だけを追い求めた。企業戦士と言われたように、いつも戦い続けてきた。★富田教授は指摘する。研究も9割は失敗する。「ナイストライ！」と失敗を容認する度量が必要だと。どうせ無理とは言わずに、1%の可能性があれば、学生にやってみれば背中を押してやることも必要なのだ。勝負する人をカッコイイと思える文化をつくっていかう。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号  
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583  
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp